

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

申請日: 令和6年10月11日

①学校名:	大阪医科薬科大学		大学(私立)	②所在地:	大阪府高槻市大学町2番7号					
③課程名:	薬剤師キャリア形成プログラム									
④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム(短時間)		⑤定員:	10名		⑥期間:	2年間			
⑦責任者:	大阪医科薬科大学長 佐野 浩一			⑧開設年月日:	令和7年4月1日					
⑨申請する課程の目的・概要:	地域医療構想において、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保するため、病床再編等、医療機関の機能分化・連携が進められるなど、医療提供環境は変革の時期を迎えている。また、医療・福祉・介護を地域で支える地域包括ケアシステムが構築されており、薬剤師は病院・薬局を問わず自身の置かれた立場において医療専門職として貢献することが求められる。 本プログラムでは今後の活躍が期待される薬剤師の育成を目的に、在宅医療に秀でた薬剤師の養成を目指す。特に、今後の在宅医療では医療機関との機能分化・連携が推進されると見込まれることから、地域包括ケアで求められるフィジカルアセスメントや無菌調製、認知症や褥瘡への対応能力を身につける。また、漢方医学の基礎を学修し、セルフメディケーションの支援能力を身につける。さらに、医薬品の適正使用、医療倫理、最新の薬物治療・診療技術に関する情報などについても学修する。									
⑩10テーマへの該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業	2 地方創生	4 DX	6 就労支援	8 ビジネス等	10 防災危機管理
⑪履修資格:	日本の薬剤師免許を有する者で、インターネットを使用できる環境にあり、基本的なPCアプリが使用できる者。対面でのセミナー、講座および講義の開催日に出席できる者。									
⑫対象とする職業の種類:	薬剤師									
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・在宅医療(フィジカルアセスメント、褥瘡治療、認知症サポート)に関する知識と技能 ・漢方医学の基礎から応用までの知識 ・最新の病態・薬物治療に関する知識 ・医療制度や薬事行政に関する知識 ・医療技術や医薬品の臨床評価に関する知識 ・医薬品のリスク管理に関する知識 ・オーラルケアに関する知識 ・生命医療倫理に関する知識 (得られる能力) ・生涯研鑽の能力 ・フィジカルアセスメント実施能力 ・褥瘡治療実践能力 ・無菌調製の基本的手技 ・セルフメディケーションの支援能力									
⑭教育課程:	本プログラムは、医療専門職として地域包括ケアで求められる在宅医療に秀でた薬剤師の養成を目指す。さらに、漢方医学の基礎を学修し、セルフメディケーションの支援能力を身につけることを目的としている。 ①「スキルアップ講座」では、医療機関の機能分化・連携の推進により増加すると見込まれる在宅医療に必要なフィジカルアセスメントや無菌調製、褥瘡への対応能力を修得させる。 ②「漢方基礎講座」では、漢方医学の基礎から応用まで学修し、セルフメディケーションの支援能力を修得させる。 ③「先端医療講座」の受講により、代表的な疾患に関する病態・治療の基礎知識、最新の薬物治療について実務家(医師、薬剤師)が修得させる。 ④「医療評価薬学」「医療薬学総論」では、実務家教員が中心に担当し、医療薬学、医療制度、医療技術や医薬品の臨床評価およびリスク管理を修得させる。									
⑮修了要件(修了授業時数等):	・必修(スキルアップ講座、漢方基礎講座、先端医療講座、医療評価薬学)57.5時間、 ・自由選択(医療薬学総論)から3時間以上 計60時間以上の講座、セミナーを受講した後、レポートを提出し、口頭試問に合格すること。									
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、大阪医科薬科大学薬剤師キャリア形成プログラム修了証									
⑰総授業時数:	69.5	時間	⑱要件該当授業時数:	50.5	時間	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	72.7	%		
⑳該当要件	企業等	双方向	○	実務家	○	実地				